

いしづち

愛媛労災病院広報誌第20巻第3号

（通巻第97号）

2021年7月5日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に
推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、
以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の
決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



ふれあい看護週間に各病棟による展示を行いました

形成外科診療のご紹介	2	北4病棟 紹介	3
中央検査部のご紹介	3	新任医師紹介	4

形成外科診療のご紹介

第二形成外科部長 大西 智子

形成外科とは、生まれつきあるいは外傷や腫瘍切除後などによる体外表の形状の変形や欠損、色調の変化などを、外科的手技など様々な特殊な技術によって機能的、整容・形態的に可能な限り正常に、より美しい状態にし、個人を社会適応させることを目的とする、外科系の専門領域です。

今年4月より形成外科では、乳癌術後の乳房再建術、眼瞼下垂症手術、ボトックスによる多汗症治療（保険診療）、ボトックスによるしわ治療（自費診療）を診療内容に追加し、最新の形成外科治療を提供できるよう努めております。

今回はあまり聞きなれない乳癌術後の乳房再建についてご紹介させていただきます。

近年日本女性の乳癌罹患率が増えており年々増加傾向にあります。女性の癌の第1位をしめるようになりました。

他の癌と異なり、乳癌は長い経過を要する疾患であり、患者さんは生命予後の心配と乳房を失うという2つの大きな問題を抱えることとなります。

乳房を失うことで女性としての自信を失い、うつ傾向になる患者さんも少なくありません。

こういった背景のもと、そういった方が少しでも前向きに人生を送っていただくためにも乳房再建は重要な役割をはたしていくものと思っています。

乳房再建を希望される人が増えてきたことが影響し2006年4月より自家組織移植での再建が保険適応になりました。自家組織とは自分の背中やお腹の組織を使用して乳房を再建する方法です。

また自分の組織を使用せずに、人工物（乳房インプラント）を使用して再建を希望する方に対しては2014年1月からインプラントによる再建も保険適応になりました。

この影響により一層乳房再建患者数が増えて



本邦で使用している乳房インプラント

きているのが現状であります。

愛媛県内では、再建施設が限られており、再建の相談をしたくてもなかなかできない状況の方はいらっしゃると思います。

当院は、乳房再建用エキスパンダー／インプラント実施施設であります。

症例写真等もお見せしながら、個々の患者さんにあった最善の治療方法を提供できるよう努めて参ります。

少しでも気になっておられる方は是非当院形成外科（火曜日、木曜日）にお越しください。

中央検査部のご紹介

中央検査部長 樋口 巖



コロナウイルス検査用機器



輸血用検査機器

中央検査部は、名前の通り検査を担当する部署です。検査といっても実はたくさんの種類があります。

皆さんご存じの例であげると、貧血や血糖、コレステロール等、採血する検査、尿での検査、心電図やエコーといった検査も、我々検査技師の業務となります。

あまり知られていませんが、肺炎や結核、食中毒などを検査する細菌検査、がん細胞などを検査する病理検査も検査医師・技師が担当しています。また、輸血をする際の適合・不適合を確認する業務も行っています。

ここ1年半、世の中はコロナウイルスとの戦いでもありました。PCRを代表とするコロナウイルス核酸検出検査も検査部の仕事です。

検査部では、皆さんの健康や安全に関わる情報をいち早く、正確に臨床（外来、病棟）に提供できるよう、日々頑張っております。

北4病棟 紹介

看護師長 日野 美保

北4病棟は、産婦人科、小児科、整形外科の混合病棟であり、院内唯一の女性病棟です。

患者さんの年齢は、新生児から100歳台と幅広く、分娩、手術、化学療法、緩和ケアと診療内容也多岐にわたります。

病棟スタッフは、看護師15名と助産師10名で構成されており、それぞれの職種が専門性を発揮すると共に、協働して患者さんのケアを行っています。

近年、特に高齢の患者さんや総合診療科の終末期の患者さんが増えたことから、看護師チームでは、多職種で連携し、最適な看護ケアが提供できるよう努めています。

助産師チームは、コロナ禍に伴い分娩件数の更なる減少がありましたが、妊娠から産褥期まで一人一人の妊産褥婦さんと丁寧に向き合うと共に、産科にこだわ

らず、看護師チームと協働し日々の看護を行っています。

コロナ禍のため、いろいろな制約を受けている患者さんが、安心して入院生活を送り、スムーズに退院できるよう、これからも地域との連携を密に図りながら、患者さんとご家族を支援できる病棟でありたいと思います。



新任医師紹介



おおにし さとこ
大西 智子

診療科：形成外科
経験年数：20年
専門分野：乳房再建 眼瞼レーザー治療
趣味：旅行 音楽鑑賞

コメント：

26年ぶりに愛知県から地元の新居浜に帰って参りました。

患者さんに寄り添った診療を心掛け、今までの経験を活かし最新の形成外科治療を提供できるよう日々頑張ってお参ります。よろしくお願いたします。

がんけんかすい ちりょう
眼瞼下垂 治療
保険適用 治療です
加齢や先天性、外傷など様々な原因で、まぶたを開ける筋肉が弱くなり、まぶたが下がり、目が開きづらくなったまぶたを上げ、皮膚のたるみも取り視界を広くする治療です。
患者さんのお顔みや、症状に合わせて診断、治療させていただきます。少しでも良くなるお状況ございましたら、お気軽にご相談下さい。
診療科目：火・木曜日 内服・注射・点滴まで

愛媛労災病院
乳がん術後の乳房再建
お悩みは当院にご相談ください



おか ゆうすけ
丘 雄介

診療科：整形外科
経験年数：11年
専門分野：整形外科一般、脊椎脊髄外科
趣味：ゴルフ

コメント：

はじめまして。愛媛労災病院整形外科 丘雄介と申します。

愛知県の藤田医科大学を平成23年に卒業し藤田医科大学病院や関連病院に勤務し2019年4月より山口大学整形外科に入局し、この度愛媛労災病院に勤務することになりました。

整形外科全般、特に脊椎疾患を中心に診療にあたっております。今まで学んできたことを生かし精一杯診療を行っていきたく存じます。

今後ともよろしくお願いたします。

こんな症状ありませんか？
腰痛 歩行障害
手足のしびれ感
手足の運動障害・麻痺
頸部痛・肩こり
上肢痛 下肢痛
スポーツ障害
お悩みは当院にご相談ください
愛媛労災病院 0997-333-0101 受付時間：9時～17時



たけ なか ひとし
竹 中 仁

診療科：循環器内科
経験年数：8年
専門分野：循環器

コメント：

日本の医療は各科専門家に細分化されており、各科専門家に診療を任せるべきと考えています。

当科は循環器であり、循環器診療を頑張ろうと思います。

広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：今田看護副部長、横井看護部長、秋月看護部長補佐、大成薬剤師、高橋理学療法士、今村管理栄養士、正岡診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、井戸医事課員、出原総務課員、越智総務課員